

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童デイサービスあさひ丸新都心

保護者数(児童数)25 回収数22 割合97%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21			1		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	19			2	職員の顔写真と名前一覧などがあるといいなと思います。	新年度におたよりを配布予定。
	③ 障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化が適切になされているか	13	5	1	3	階段の為、車椅子の子供が通えない点が気になる。	車いす対応などに必要な構造上のバリアフリーには対応しておりません。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	21	1				
	⑤ 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	17	1		4	通所してまだ日が経っていない為、判断できず。一日の活動内容を詳しく知りたい。あさひ丸=YouTubeを観れると思っている様で長時間になっていないか心配。	新年度のおたよりに一日の活動内容を掲載したいと思いません。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	3	12	双方の負担が掛からないようお願いします。コロナが収まったら、このような交流が出来たら良いと思います。	新型コロナが収まってきたら、障害のない子どもと活動する機会を作っていただければと思います。
保護者への説明等	⑦ 利用者負担等の説明や支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	22					
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	21	1				
	⑨ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	3		2	これから実施するのかと思います。まだ面談を実施していない為、わかりません。	モニタリング(面談)で対応できればと思います。また、保護者様よりご相談などありましたら、その都度対応させていただきます。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	8	9	保護者会はあると嬉しい。特に保護者同士の連携は必要無いと感じる。	新型コロナウイルスの状況や社会情勢を注視していく中で、保護者会を開催できるようになれば行っていきたいと思います。
	⑪ 子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18	1		3		
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20			2		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	6		5	会報なし。今回、アンケートが初のため自己評価結果はこれから要確認。 予定表の確定版にも工作やダンスを行なう情報を残して欲しい。	会報については検討させていただきます。 確定版への情報記載は今後記載していきます。 自己評価結果は3月にHPの方へ掲載させていただきます。
⑭ 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19			3			
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	1	1	5	訓練が実施されているかはわかりません。	予定表や確定版に避難訓練開催の情報を掲載。インスタグラムで写真など様子を掲載できればと思います。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	1	1	9		
満足	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	22					
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	21			1	本当に楽しく通所させて頂き感謝しています。ありがとうございます。	これからも支援に満足していただけるよう考えていきたいと思えます。

事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和 4年 3月15日

事業所名 児童デイサービスあさひ丸新都心

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1			
	②	職員の配置数は適切である	1	5			明らかに職員数が足りないと感じる時がある。パート職員の増員を希望。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	4			洗面所、トイレなど既存の設備、スペースが狭く、不便を感じることもある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	3	3			
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	4			初めての評価実施。今後、職員間で話し合いを行っていきます。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	2	3			初めての評価実施のため、今回の評価結果よりホームページへ掲載していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	1		一般の職員にはわからない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			スタッフミーティング、放課後連の事例検討会、ネット研修への参加。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			管理者がアセスメントを行ない、保護者の考えや課題を職員に共有している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	4			
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	2	3			
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	3	2			
	⑭	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1			昼礼実施。担当児童の支援目標を確認し、全員で共有。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5				終礼実施。 終礼の際に出た内容の引継ぎが出来ていないため、ノート作成など方法を検討していく。

	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5				
関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	5				
	⑲	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や学校、関係機関と連携した支援を行っている	2	2	1	学校とは引き渡しの際、連絡を取り合っている。	他事業所との連携。
	⑳	就学前に利用していた保育所、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	1		
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	2	1	1		まだ、卒業した子どもがいない。今後保護者様からのご要望がありましたら対応していきたいと思います。
	㉒	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		ネットでの研修参加。	
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	公園などの公共の場へ遊びに行き、接する機会は作っている。	
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2	2		
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1			
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている			4	分かりません。	
	保護者への説明書	㉗	運営規定、利用者負担等の説明や、支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	5			
㉘		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	3			
㉙		父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			5		
㉚		子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情窓口設置している。	

責任等	③①	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の除法を子どもや保護者に発信している	2	3		Instagramを開設。行事予定は事前に予定表に記し、行事案内を参加者へ配布。	Instagramのアカウントがない方は見ることが出来ないため、お便りなど検討
	③②	個人情報の取り扱いに十分注意している	6				
	③③	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1			
	③④	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			5		
非常時等の対応	③⑤	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施している	5	1			
	③⑥	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っている	6				
	③⑦	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1			
	③⑧	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1			
	③⑨	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2				

事業所自己評価のまとめ

事業所名 児童デイサービスあさひ丸新都心

職員による自己評価と保護者に評価の共通点

- ・運営規定、利用者負担等の説明や、支援内容とこれに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている。
- ・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができている。

相違点

- ・定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等を子どもや保護者に発信している。
- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、訓練を行っているか。

改善点と改善への取り組みを話し合った結果

- ・Instagramで訓練の様子や日常の様子などを配信しているが、見ることが出来ないなどあるため、新年度に職員の紹介や活動内容などを記載したお便りを配布することを検討。それ以降の発行についても職員間で話し合い検討していく。
- ・避難訓練を行うことなど、予定表・確定版に記載し分かるようにしていく。